

富山市に航空機部品を手掛ける専用工場を新設した。実際に機械を置くのは工場全体の

3分の2程度だが、「将来の増産に備え、少し大きめの工場を造ったんだよ」と笑う。

大きめの工場造った

経済
ひと言



右金精機社長

清水克洋氏

航空機メーカーに部品が採用されるには厳しい競争を勝ち抜かなければならない。「グローバルな部品調達だから、新興国メーカーに競り勝つには、コストを限界まで下げないといけない」と語る。

「採用されれば企業のブランド力が上がる。むしろ人材確保など他の分野で相乗効果がある」。航空機部品の製造を起爆剤に会社を大きく飛躍させたいと願う。(国)